



MUSASHINO *for* TOMORROW

Vol. 148
Apr 2026



スターダスト

特別
対談

星屑が照らす
“今求められる力” 後編

根本 要 | スターダスト☆レビュー
福井直昭 | 武蔵野音楽大学理事長・学長





ごあいさつ

武蔵野音楽大学理事長・学長
武蔵野音楽大学附属高等学校校長

福井直昭

桜の樹下を希望に満ちた武蔵野生が行き交う美しい春の日々、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。例年同様、全国各地から多くの新入生諸君を迎えて令和8年度の学事が始まりました。日々音楽を探求し、努力を重ね続ける新入生、在学生・在校生の皆様に対し敬意を表しますと共に、これまで支えてこられたご家族の皆様、教学運営に対し多大なご支援・ご協力をくださったすべての方に、心より感謝申し上げます。

さて、ちょうど本誌が皆様のお手元に届いている頃の本年4月末には、武蔵野音楽大学附属高等学校の新校舎が、江古田の旧むらさき寮跡地に堂々落成いたします。そして、いよいよ1年後の2027年4月に正式に埼玉県入間市より移転し（東京都認可申請手続き中/学校設置計画承認済）、伝統ある本校のアイデンティティを継承しつつ、新たな価値を生み出す学校へと進化を遂げます。「気づきと創造力をもたらす空間」をコンセプトに掲げた新校舎では、魅力ある運営・授業カリキュラムを提供し、音楽の力で自らの未来を切り拓いていけるような教育を実践します。また、大学キャンパスへ徒歩3分に位置するため、高大接続・連携をさらに深化させ、附属高校生徒が大学の教員・学生と交流する機会を格段に拡充いたします。未来を感じさせる新校舎のデザインは、そこに集う生徒たちによって更なる輝きを増すことでしょう（詳細は本誌9、10頁）。

また、本学園が、2029年に創立100周年を迎えるという節目に合わせ、学園が歩んできた歴史を確実に次世代に継承するための「武蔵野音楽大学歴史展示室」が4月1日に開室いたしました。時系列に沿った貴重資料約250点の展示が、在学生には、100年という月日の中で脈々と受け継がれてきた建学の精神「〈和〉のこころ」をより一層理解してもらおう場、同窓生の皆様には学園の歴史を想いそれぞれの現在・未来を展望していただく場として、学園の一体的発展の一助となることを願っております。

ご承知のとおり、世の中の変化は目まぐるしく、未来の正確な予測が困難な時代となってきております。現代を生きる私たちには、常に未来を描く力、そしてそれを実現するための瞬時の判断力、行動力が求められていくことでしょう。より良き未来へ向け、教職員一同、建学の精神を堅持し、「音楽芸術の研鑽」と「人間形成」という教育方針に従って、学園全体の更なるソフト・ハード両面の充実、教育活動の向上を図り、自立した有用な人材を育成する教育機関としての社会的責任を全うしていきたいと考えております。今年度も、皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げますと共に、より一層のご支援、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



スターダスト

星屑が照らす“今求められる力”

後編

根本 要

スターダスト☆レビュー

福井直昭

武蔵野音楽大学
理事長・学長

ライブ回数2700回を超える永久不滅のライブバンド「スターダスト☆レビュー」のボーカル&ギターの根本要さん。福井直昭理事長・学長の強い希望によって実現したスペシャル対談は、ジャンルに違いこそあれ、お互い同じ音楽と言葉の表現者として感じ入るものは多々あったようで、根本さんからは後日、対談の様子をラジオでもたくさんお話しいただき、また本誌にも改めてメッセージを頂戴しました。多くの経験を重ねたお二人ならではの高い見識と巧みな話術を、存分にご堪能ください。

(2025年6月4日実施・スチール写真撮影: 深谷義宣、ライブ写真提供: ラブソディ)

AIと対峙して気づいた大切なもの

福井: 現在、3年にも跨る45周年ツアーの真っ只中ですが、ツアータイトルにもなっている通算49枚目のアルバム『星屑冒険王』制作にまつわる話をお聞かせください。

根本: 僕が「なぜアルバムを作るのか?」と訊かれたら、「ツアーをやりたいから」と答えます。もっとカッコつけて言えば、新しい

創造物を携え、プライドを持って大好きなツアーを周るため。でもアルバム作るのって、そりゃあ大変なんです(笑)。

福井: 「せっかく苦勞して作る以上は、ツアーはたくさん周る」って(笑)。毎回100公演以上ですもんね。

根本: そうです(笑)。だから、もちろん今回もアルバム制作に対する情熱はあったんだけど、同時にアイデアが枯渇しているのではという不安もあったんですよ。50枚近くアルバムを作れば、もう大したアイデアも出てこない(笑)。そんな時に、マネージャーがAIが作曲してくれるサイトを教えてくれました。曲作りのアイデアになれば、との思いですね。実際、いくつかのキーワードを入力すれば曲が出てくるんだけど、それが思いのほかよく出来ていたんです。ただ、僕を感動させてはくれませんでした。僕はそこに、AIの限界というものを見ましたね(笑)。

福井: AIの曲に足りないものは、なんだったんでしょう?

根本: 一言でいえばリスペクトですね。僕らの楽曲制作は、「このミュージシャンに少しでも近づきたい」という衝動、つまり模倣から始まると言えます。もっと俗っぽく言えば“〇〇っぽい音楽”

を作ろうとするわけです。でも単なる“ばい”だけじゃ納得できない。最低限必要なのは、自分を突き動かす、自分が愛してやまない音楽に対する“リスペクト”であり“愛情”なんです。AIの曲は、音楽的には高いレベルで成立しているから、人によっては好きという方もいるでしょうが、まあ僕としては、よくできているが故に、かえってムカついてきたというか(笑)。

福井:本来、無生物であるAIは、自然物の人間が生む感情や意欲、欲望、審美眼などとは疎遠なものですよね。そもそも、AIによる成果物は創造物といえるのか。データの複製に過ぎないのか。人間のデータを学習し、素早く上手に模倣するから、それらに“近似”させることは出来るかもしれないけど、“均質的”というか…

根本:そうですね。なぜこの音楽が出来上がったのかが大事なんです。僕はよくファンの方に話してます。「スタ☆レビだけ聴いているのはもったいないよ。僕らがたくさんの音楽を聴いてきたからこそ、今のスタ☆レビの音楽がある。だから、いろんな音楽を聴いてほしい」と。

福井:クラシック音楽の大作作曲家たちも、当然過去の作曲家や音楽的な潮流から大きな影響を受けています。換言すれば、クラシック音楽の歴史は、同時代も含め互いに影響し合う作曲家の連鎖によって形成された。それゆえ、音大で「音楽史」は必修科目なわけです。でも、とにかく学生は自分の好きな作曲家、派手に聴こえる作曲家の作品だけ演奏しがちです。何百年も残ってきたクラシックの名曲には、聴き続けられてきた理由がある。だから勉強する曲を選び好みせず、さまざまな時代の名作の勉強を怠らないでほしいですね。

根本:本当にそう思います。クラシックの歴史には遠く及ばないけど、ちょっと大げさな表現ですが、音楽を通じて、僕らは時代を超えた線で繋がっているんです。

▼「STARDUST REVUE LIVE TOUR 暮れの元気なご挨拶～お歳暮付き～」(2008年)



福井:創造力とは、先人の知恵、過去の積み重ねをよく学ぶことで培われるものなんですね。

根本:この関連で言えば、あんまりこの話はしたくないんだけど…。

福井:どうぞお願いします(笑)。

根本:随分前のことですが、僕の番組にあるバンドがゲストに出てくれて。当然、事前にそのバンドのCDを聴いたのですが、何故か途中で他のこと考えちゃって、どうしても最後まで聴けないんですよ。どうしても、彼らが何が言いたいのか僕には全然分からなかったんです。もちろん、そのバンドを好きな人はたくさんいたと思うけど、僕には彼らは単に人前で演奏したいだけで、過去の音楽から連なる歴史とかには全く興味ないからなんだろうなって思いました。こういう曲が流行ってるから書いてみたよっていうだけの、まさにさっきのAIのレベル。でも恐ろしいのは、そういう音楽が売れるんですよ。まあ聴く人は好きなものを聴けばいいし、すべての人がそんなことまで考えて聴いてるわけじゃないと思うけど、最低限モノを作ることに必要なことってあるような気がします。けっこう有名な人でしたよ。

福井:でも、きっと現在は残っていない方々と推測します(笑)。

根本:とにかくAIが反面教師となって、僕が示すべきは“音楽に対する愛情”であることは分かったわけです。その上で“じゃあ、僕の音楽における一番の愛情はどこにある？”って考えたら、それはスターダスト☆レビューそのものだったんです。約45年のバンド生活の中で、子供の頃から聴いてきた音楽をぶち込み、そこに携わってくれたメンバーやスタッフ、支えてくれたミュージシャンたちの力を借りながら、今まで作ってきたのがスタ☆レビですから。

福井:僭越ながら私は、『星屑冒険王』に“時空を超えて音楽世界を巡るための時計と地図”というイメージを持ちましたが、その理由が今分かりました。そこには、スタ☆レビがこれまで共にさまざまなことを乗り越えてきたすべての人への感謝と愛が、過ごし



た時間とセットで詰まっているからなんだと。そうなるAIどころか、他の誰にも書けない。それを思う御本人たちにしか綴れないです。私は常々、要さんとバンドメンバー、スタッフ、豪華な共演ミュージシャンとの御関係に、武蔵野の建学の精神である“和”の高次元での具象を

見ているんです。ついでに申し上げると、スタ☆レビを表す名キャッチコピー“高い音楽性と低い腰”は、本学教育方針“音楽芸術の研鑽と人間形成”とも符合しているように思われるのです。

根本: またまた恐れ多いです(笑)。

スタ☆レビが示唆するAI時代の教育

福井: いま伺った音楽創作のような表現能力、Chat GPTなどによる文章作成能力など、我々は日々AIの発展を目の当たりにしています。記憶容量はもちろん検索・演算速度などで、AIは既に人間を凌駕しているのは明白です。しかし、人間の頭脳の働きは、必ずしも記憶量や計算の速さだけではないですよね。もっと根本、あっ根本と言っても根本要さんではないです(笑)。

根本: わかってます(笑)。

福井: 人間の精神活動の根本である「知・情・意」、すなわち知識・知性、感情・情緒、意志・意欲の三者をいかにバランスよく育てるかが人間形成の肝であり、教育の目標といわれてきました。一方で、日本の教育は、知識の集積を主とする“知”に偏った教育をしてきたことも指摘されます。

根本: “知”が必要であるのは大前提ですが、その思いを表現する言葉も大切だと思います。ちなみに、僕は知らないことでも2時間話せます(笑)。

福井: 「唇に脳みそついてる」って(笑)。いずれにせよ、既に人間はこの教義の“知”においてAIに及ばない以上、単なる学力に特化した教育では、これからのAI時代に適応できないと思います。“情”、すなわち何を美しいと、何を面白いと感じるか。あるいは他者の気持ちを理解する共感力。そして“意”、自分はこんな風に生きたいと感じる、あるいは目標を立てての行動。これらを深める教育



▲[楽園音楽祭2005 STARDUST REVUE in 日比谷野外大音楽堂](2005年10月9日)

が、いま求められるのではないのでしょうか。

根本: いいお話ですね。まさに、僕がラジオを通して伝えたいのもそういうことだったりするんで。

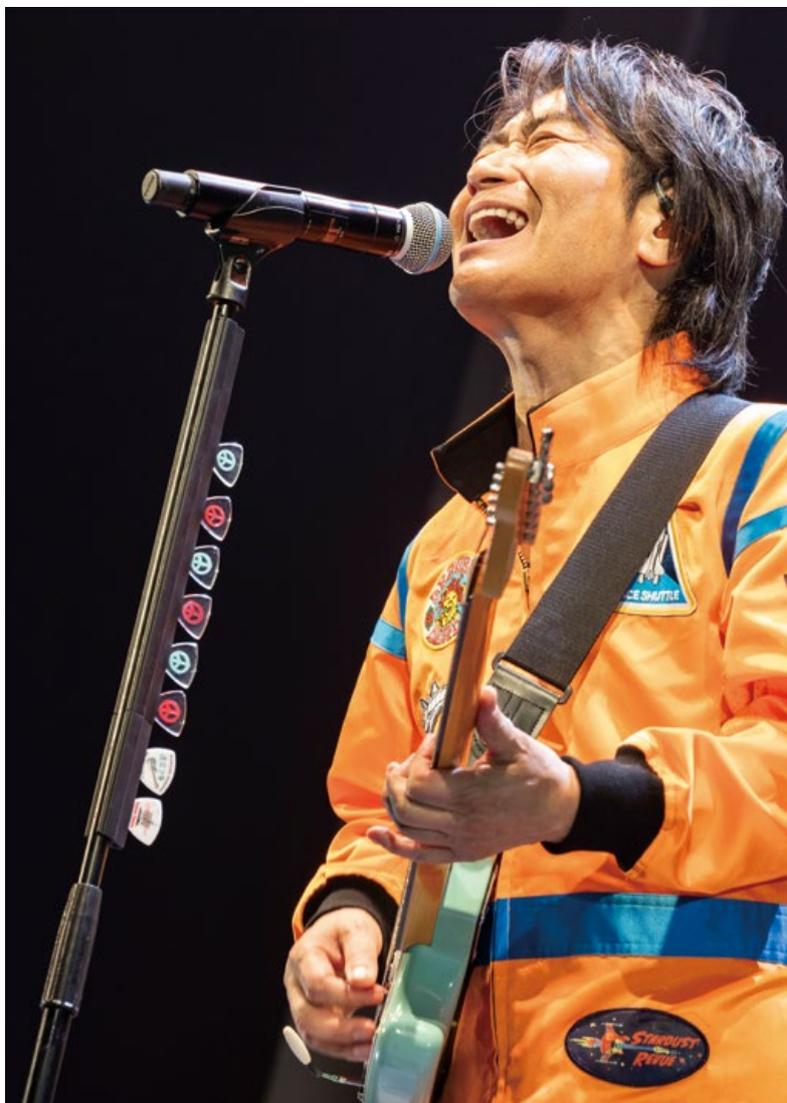
福井: ありがとうございます。したがって今だからこそ、武蔵野音大では、創立以来掲げた教育方針の「音楽芸術の研鑽と人間形成」を一層推し進めたいのです。ところで、先日リスナーの方から「数字で表わされるランキングをどう思いますか」みたいな質問を受けてましたね。

根本: どの曲が売れたとかのランキングの話ですね。数字は客観的という意味で、それはそれで大事だけど、もっと大事なはその解釈では、と答えた気がします。事実として、その数字は存在するけど、その大小で価値観まで決まるものじゃないですよね。スタ☆レビはマニアックと呼ばれることが多いけど、例え少数でもそれを長きに渡り楽しんでくれる人がいる。それこそ言われた“情”とか“意志”の部分が反映されている気がします。

▼45周年ツアー2025～27「星屑冒険王」



▲福井理事長・学長のアナログ時代からのコレクションの前で



福井:現代社会は、数字で覆い尽くされたいわば“数値化社会”なんですよ。企業だったら売上、政治は支持率、学校は偏差値、SNSはフォロワー数等で評価され、振り回されている。現代人は数字を神のように信仰しているというか。一方で、情報過多の超ハイスピード社会が生み出した分断主義者、SNS社会でのマウント族も問題となっております。

根本:言葉遣い一つとってもね。少し気遣えば、その言葉を使わなくてもいいのって。

福井:時代が移ろい価値観が変わる中、スタ☆レビの音楽とエンタテイメント性溢れるライブの持つ情緒・人間らしさが一層輝きます。スタ☆レビは、数字やエンタメの在り方の変化に揺らがない音楽ですからね。AI時代の教育に必要なものを示唆しているんですよ。

生まれ変わったらやりたいピアノと英語

福井:教育の話が出た所で…マルチな要さんですが、生まれ変わったとしたら何をやりたいですか？

根本:ピアノと英語ですね。

福井:終始一貫してて、すごいですね。

根本:それ、どういうことですか？

福井:30年前のインタビューでも、そう答えてて(笑)。

根本:参ったな！言質とられてるみたい(笑)。

福井:ちなみに当時は、“ピアノには俺に欠ける知性がある。ピアノの前に座って袖なんてたくし上げるなんて、いいじゃん！”とか言ってますよ(笑)。

根本:ガハハ！でも、真面目に答えるとね、その2つは本当に、自分が大好きな音楽をやる上で、欠けているものです。曲を作る際、僕が毎回最も直面する問題は、基本的な音楽知識の欠如。僕のは勘だけで作っている音楽だからね。あと、大好きな日本で音楽活動したいから、今の僕の思いを伝えるなら歌は日本語でいけるけど、ただ外国の方とコミュニケーション取るのに、英語はもちろん大事なだろうし、そもそもこんなにたくさん英語の歌を歌ってるのに、僕は全くできない。

福井:日芸の入試科目には、英語ありましたけど(笑)。

根本:それはなんとかクリアしました(笑)。僕が長く音楽をやってこられたのは、僕のアイデアを具現化してくれる人がいてくれたからです。一人じゃ決して出せない音、それがバンドなんです。



▲根本さんが「ライブ前にもしる食べたほうが調子が良い」という「辛ラーメン」の新作のプレゼント



▲ツアー2022~24「プギウギ ワンダー☆レビュー」

僕がバンドを続ける理由はそこにあります。だから、もし僕がピアノをやっている基本的な音楽知識があれば、一人でなんでもやっていたかもしれませんね。英語にしても、僕は音楽だけでなく自分の人生観も伝えたいから、日本全国言葉の通じる場所にライブに行くけど、それももしかしたら変わっていたかも(笑)。きっと今の自分ではない自分がいたんだろうなって想像しますね。とはいえ、やっぱり音楽の基本にピアノという楽器があるのは紛れもない事実でしょう。

最強のライブバンドとしての幸福論

福井:杉山清貴さんから“日本の宝”と称賛されたように、スタ☆レビは日本一のライブバンドだと評されます。

根本:僕は、音楽は聴く人によっては最高の心の良薬だと信じてます。今日ライブに来てくれてた人が、僕らのライブを観ることで心の中に何かを生み出してくれること、何かを感じてくれること。そんな思いを、一人一人に伝えるつもりで演奏しています。そして、そこから生まれた感動を、全員で共有できる幸せといったものが、ライブには確実に存在します。

福井:特にスタ☆レビのライブは“参加型”ですからね。ステージと客席の一体感が抜群です。

根本:でもライブって、行く人は何回も行くけど、行かない人は全然行かないでしょ。

福井:たしかに履歴書とかで“趣味：音楽鑑賞”とかよく見るけど、いざ詳しく訊いてみると、ジャンルが何であろうと実際に会場に足を運んでる人はとても少ない(笑)。それは鑑賞ではなく聞き流してるだけだから、軽はずみに書かないほしい(笑)。

根本:だから僕らは出来るだけ門戸を広げ、全国各地に行って観たい人にお見せしたいんです。

福井:スタ☆レビのツアーは、文字通り全国津々浦々、くまなく周り





▲《25年に一度の大感謝祭 6時間ライブ》(2007年5月19日:さいたまスーパーアリーナ)

ますからね。47都道府県の県庁所在地に限らず、第2、第3、第4の街まで。まさに、星屑冒険王ですよ(笑)。

根本: 僕らの楽曲を知ってもらうことも大切だけど、僕はライブにおける非日常的な感覚を味わってもらいたいです。

福井: クラシックとロックは少し異なりますが、本質は同じ。音楽は瞬間瞬間に生成され、そして消えていく時間芸術。しかしその儂い音響現象の中に、人間の最も深い体験が刻み込まれているのだと思います。音楽は単なる音の組み合わせではなく、人間の魂の言語であると。さっきのAIの話にも関連しますよね。

根本: 日本の音楽状況はパブリシティが中心に作られるので、どうしても“売れている人”にスポットが当たりがちです。もちろん、それは当然のことだけど、話題性の少ない音楽や、水面下の面白いミュージシャン達が埋もれてしまうことも多いんです。そういう人たちって結局音楽活動が継続できずやめていくわけですよ。逆に「売れすぎて仲が悪くなった」とかの話もよく聞きますね(笑)。

福井: 時代に消費されていく…でもスタ☆レビは違った。

根本: 確かに僕らができることと言えばライブしかない。でも、そのライブを続けているうちに段々と人が集まってくれるようになって、結果、たとえ大ヒット曲は持ってなくても、今でも音楽で食べていけるんです。「音楽をやりたい気持ちさえあれば、スタ☆レビのようなことも可能だぞ」—なんか偉そうだけど、半世紀近くバンドをやっている僕が今、使命感を持って伝えたいことです。

福井: 音楽をやりたい気持ち。それも人間だけが持つ欲求ですね。

根本: 僕は、ずっと幸せに音楽がやれています。その幸せには“発想の転換”が必要だと思っています。風呂桶を満杯にしないと幸せになれないと思うんじゃなくて、まず洗面器一杯の幸せを感じる。



▲根本さんがパーソナリティーを務めるラジオ番組Nack5「Nack de Rock」の収録にて



▲スタ☆レビとも多くの共演がある客員准教授 織田浩司先生(米米CLUB、BIG HORNS BEE)とベートーヴェンホールで

それを10杯くらい集めたら大きな幸せにもなるかもしれない。そういった“小さな幸せを感じとれる器”を持てば、人生を送りやすくなるのではないのでしょうか。アマチュアの僕らがプロになり、全然売れないけどライブにはお客さんが来てくれて、いつの間にかホールツアーができるようになった。ちっちゃな幸せから始まり、気が付けばこんなに大きな幸せを感じられるようになりました。

福井: 幸せの基準というのは、自分自身が決めるものだと思います。他人との比較の中に自分の人生をうずめて、他人の持っているものを“自分も!”と買い求める人生は、例えそれらを全て手に入れたとしても、絶対に幸せを感じることは出来ないと思います。幸福になるのは、自分の好きなものを持っているからであり、他人がよいと思うものを持っているからではありません。

根本: その言葉、ムッチャいいですね(笑)。今回のアルバム収録曲でも、「歳の数だけ楽しいことがあるなら この先だって期待しちゃう」と歌っています。年齢を重ねるっていうのは、なんとなく負のイメージがあるんだけど、さっきも言ったように、僕は年齢を重ねれば重ねるほどバンドの充実感が増し、昔よりも音楽を楽しんでいる実感があります。年を重ねることの大切さ…僕は人は30代からが面白くなると思ってます。それは、学長がおっしゃるように20代までは他人の作った美や価値観を追いかけている。でも、その後それを踏まえてどう生きるかで、人生が本当に面白くなる。

福井: 要さんを拝見していると、音楽好きだった少年の頃の心を今でも実践する「還暦少年(2018年リリースのアルバム)」そのものだと感じます。私も年齢的には「還暦少年」に近づいてきましたが(笑)、本当に目標にさせて頂きたいです。要さんの若さの源は、ラ

ライブ活動による心理的・肉体的還元や、さまざまな音楽と人々に対する愛をバックボーンにした創作エネルギーなんでしょうね。

根本:今までは、年を食うことが楽しいと語ることで恥ずかしかったのかもしれませんがね。でもそれが実感としてある僕らは、これまで以上に歳を重ねることの面白さやカッコよさを真剣に語っていきたいです。

福井:我々が率先して語りましょう、歳だけじゃなく笑いもとりつつ(笑)。老いとは好奇心を失うことである。結局、老いも若きも、大学で言えば学修する学生たちも、勤務に励む教職員も、さまざまな分野やシーンから常に栄養を摂取することが必要なんだと思います。先ほど「幸福になるのは、自分の好きなものを持っているから」と言いましたが、それはスタ☆レビの皆さんにとっては、毎週のように各地で開催するライブ、それを待ってくれるお客さんたちですよね。「仕事が楽しみならば人生は極楽だ。苦しみならばそれは地獄だ」という言葉がありますが、スタ☆レビのライブが「多幸感・一体感」という言葉で表されている理由は、スタ☆レビというバンド自体が人間の幸福の理想形を体現しているからなんだと、本日の対談を通じ確信しました。本日は誠にありがとうございました。

根本:ありがとうございました。

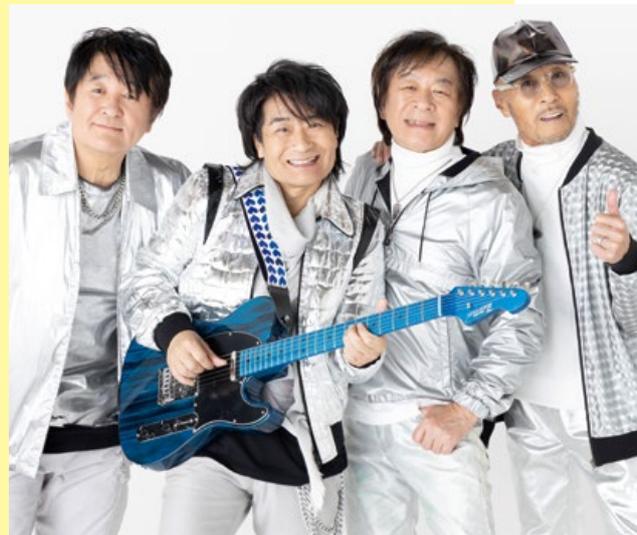


——対談を終えて 根本 要——

本当に楽しい時間でした！実は正直、僕の一番苦手とするアカデミックな場所でのインタビューということで、かなり緊張していました。ところが、当日学長自ら笑顔で僕を迎えてくださり、しかも僕らスターダスト☆レビューの音楽を深く聴いてくださっているなど、最初から驚きの連続でした。結果、文面からもお分かりの通り、リラックスした状態の下、本音の連続で語らせていただきました。

僕は子供の頃からロックを聴き、そこから音楽的なことだけでなく反戦や人種差別に対する問題意識も教わりました。そんな自分にとっての宝物である音楽が偶然にも生業となった以上、この素晴らしさを伝えるのが僕の使命でもあります。そして、その思いを福井学長に少しでも伝えられたことがとても嬉しいです。

音楽は人間の想像力の賜物であります。学生の皆さん、これからもたくさんの音楽を楽しんでくださいね。



☆根本 要 Kaname NEMOTO

1957年埼玉県出身。1981年、スターダスト☆レビューのメンバーとしてデビューし、これまでにリリースしたアルバムは49枚。音域の広い伸びやかな声で、バラードからアップテンポな曲まで、どんな曲も自分色に染めてしまう稀代のヴォーカリスト。また巧みな話術で、ラジオのパーソナリティーや番組出演も多数。エンタテインメントに徹したステージで観客を魅了する日本屈指のライブバンドは、45年を迎えた現在も100公演を超える全国ツアーを展開中で、ライブ総数は2700回を超える。2001年開催の「つま恋100曲ライブ」において101曲演奏した事が「24時間で最も多く演奏したバンド」としてギネスワールドレコーズに認定される。

☆福井直昭 Naoaki FUKUI

1970年東京都出身。慶應義塾大学卒業、武蔵野音楽大学大学院修了、ミュンヘン音楽大学留学。ピアニストとして国内外で20を超えるオーケストラと協演し、クロイツァー賞、ブルガリア国際コンクール「Music and Earth」全部門グランプリ、ハンガリー・ブダペスト市記念シルバーメダル、下総統一音楽賞等受賞。現在、武蔵野音楽大学理事・学長の他、日本私立大学協会常務理事、全日本音楽教育研究会会長等を務め、学内のみならず多くの機関において重要な役割を果たす。また、教授として優秀なピアニストを多数世に輩出するほか、マスメディアへの登場も多く、音楽文化を教育・研鑽する大学の長として、音楽の枠に留まらない発信を常にしている。

曲の終わりの飾り模様

わたしたちが普段見ている楽譜では、曲や楽章の終わりやページの終わりが一致しているのが当たり前である。その当たり前もあらためて見つめてみると、パソコンがなかった時代に、小節数や小節の幅を勘案して、楽譜をきれいにページに収めるのは、さぞ大変だったことだろう。

実はある一時期、曲や楽章の終わりが、五線譜の最後やページの最後に合わせられなかったことがある。このとき、曲の終わりを示す複雑線のあとに、模様が付けられていた。譜例1はベートーヴェンのピアノ・ソナタ第8番《悲愴》初版譜(1799年)における第1楽章結尾で、譜例2は同第23番《熱情》初版譜(1807年)における第3楽章の結尾である。いずれも曲が五線譜の終わりやページにぴたり終わっていないため、こうした模様がつけられている。



▲【譜例1】



▶【譜例2】

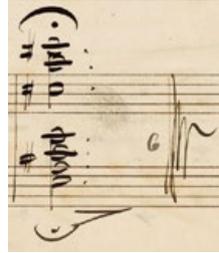
この、曲の終わりの飾り模様をドイツ語で「Schlußschnörke」という。この模様はあくまでも曲の終わりを示すものであって、楽章や曲のあとの「間」を示すものではない。ましてや当時の演奏の慣習からして、模様の大きさや長さが、楽章間や曲のあと

の「間」の長さを示しているはずもない。やがて曲や楽章の終わりがページの終わりにぴったり合わされるようになると、この模様は出版譜から消えた。

ところがこの模様は、作曲家の自筆譜のなかで生き残る。この「Schlußschnörke」を愛用したのが、ベートーヴェンとブラームスである。譜例3はベートーヴェンの《ヴァルトシュタイン》第1楽章の結尾で、五線譜が足りなくなったところにベートーヴェン自身が五線を足して曲を終え、狭いスペースを使っても、「Schlußschnörke」を付けている(赤丸で囲んだ箇所)。譜例4はブラームスの《6つの小品》Op.118第1曲の結尾、譜例5は同《4つの小品》Op.119第2曲の結尾である。あくまでも曲の終わりを示す模様に過ぎないのだが、ブラームスの美しい「Schlußschnörke」には、曲終りの余韻まで意図されているように感じてしまうかもしれない。



▲【譜例3】



▲【譜例5】

◀【譜例4】

楽器ミュージアムレター

マダガスカルの楽器コレクション

2025年の大阪・関西万博が閉幕してまもなく半年、各地で関連企画が行われ、その余韻は今も私たちの心に残っている。万博は半年間の祭典であるが、会場が閉じてレガシーは長く地域に根づいていく。今回、大屋根リングの一部が恒久施設として残されるように、1970年の大阪万博では太陽の塔や国立民族学博物館が誕生し、文化拠点として大きな役割を果たしてきた。国立民族学博物館は、当時の展示資料を基に開館した“万博レガシー”の象徴的な存在でもある。

実は、本学の楽器ミュージアムにもそのレガシーが受け継がれている。写真の楽器群は、1970年万博のマダガスカル館で展示されたもので、閉幕後に在日マダガスカル大使夫人から譲り受けた、60点近い貴重な楽器コレクションの一部である。

マダガスカルは、地理的にはアフリカに近いが、文化的には多様な影響を受けて独自の発展を遂げた地域で知られている。象徴的な例として、写真右上に見られる竹筒型の琴「ヴァリハ (Valiha)」が挙げられる。海を隔てたインドネシアにもヴァリハと同種の竹筒琴が多く存在しており、東南アジアの竹文化との共通性を見ることができるのは、実に興味深い。島にはこの他にも竹製楽器が数多く見られ、これは温暖湿潤な環境に加え、祖先がインドネシア周辺から渡来したオーストロネシア系の人々であることと深く関わっているためと考えられる。



一方、動物の毛皮をそのまま用いた太鼓類はアフリカ的要素を色濃く示す。またアラブやヨーロッパとの交易史も音楽文化に影響を与えており、マダガスカルの楽器はこうした多文化融合の歴史そのものを映し出しているとも言える。

半世紀前の万博から受け継がれたこれらの楽器は、祭典が生んだ文化交流の軌跡として、静かに、しかし確かに今も息づいている。

(武蔵野音楽大学 楽器ミュージアム所蔵)

2026年4月 附属高等学校 新校舎 堂々落成 2027年4月 開校 (東京都認可申請手続き中/学校設置計画承認済)



気づきと創造力をもたらす空間

来る2026年4月28日、1年後の2027年4月の東京での開校に向けて、附属高等学校の新校舎が落成します(設計施工:(株)長谷工コーポレーション)。

武蔵野音楽大学から徒歩3分の新校舎は、「気づきと創造力をもたらす空間」を設計コンセプトとし、3年間をともに過ごす仲間の存在を身近に感じ、互いに刺激し合いながら成長できるように、建物そのものに工夫を凝らしました。3階のレッスン室や練習室では、生徒同士の学びの姿が自然と目に入るよう、一部にガラス間仕切りを採用。2階教室のスリットガラスや、1階特別教室のガラス張り空間も、人の気配や学びの広がりを感じさせます。また、トップライトや大階段から取り込む自然光は、時間や季節の移ろいを伝え、豊かな感性を涵養。省エネにも配慮したサステナブルな校舎で、次世代の音楽教育を実現します。



武蔵野ならではの学び

未来につながる高大連携プログラム

高大連携授業

高大連携プログラムにより、武蔵野音楽大学の授業を在学中に受講することができます。大学での専門的な講義を体験することで、将来への視野が広がります。また、大学生とともにオーケストラ等で演奏・発表することを通して、より高いレベルの演奏技術や表現力を培っていきます。

※高大連携授業のうち、和声、ソルフェージュ、第二外国語、自由選択科目は、武蔵野音楽大学入学後の単位として認められます。

演奏会・公開講座・特別レッスン

武蔵野音楽大学では、欧米諸国から著名な演奏家を招聘し、演奏会や公開講座を開催しています。附属高等学校の生徒は、これらの演奏会や公開講座を全て無料で聴くことができます。また、外国人客員教授による特別レッスンを受けるチャンスもあります。

充実した1対1の実技レッスン

実技レッスンに関しては、附属高等学校の講師に加え、武蔵野音楽大学の講師陣の指導を受けることができます。



武蔵野音楽大学附属高等学校の3つの新コース

2027年より、3つのコースが新設。大学へと続く、学びの環境を提供します。

演奏コース

体系的に演奏技術を高め、豊かな音楽表現を学ぶコースです。幅広いレパートリーを習得し、武蔵野音楽大学の演奏学科器楽コース・声楽コース・ヴィルトゥオーゾコースへの進学を目指します。2年次において、プログレスコースへの転コースが可能です。

個人レッスン

専攻実技50分、副専攻ピアノ20分
(鍵盤楽器専攻は声楽グループレッスン50分)

プログレスコース ※2年次より

専門知識と高度な演奏技術を養い、将来の演奏家を目指すコースです。演奏家の養成に特化した武蔵野音楽大学の演奏学科ヴィルトゥオーゾコースへの進学を目指します。

個人レッスン

専攻実技70分、副専攻ピアノ20分
(鍵盤楽器専攻は声楽グループレッスン50分)

音楽総合コース 音楽を多角的に学び、社会の変化に合わせて視野を広げ、多様な能力を身につけていくコースです。

音楽総合専攻

音楽総合コース特有の、幅広い視点で音楽を学ぶことのできる講義・演習とともに、副専攻ピアノのレッスンはもちろん、全ての楽器または声楽、作曲を選択できる第2副専攻の個人レッスンを、毎週受けることができます。

講義・演習

作曲、音楽学、アートマネジメント、音楽教育の4つの領域による講義・演習(ソフトウェアによる音楽制作、楽器学、舞台技術、リトミックなど)

個人レッスン

副専攻ピアノ20分、第2副専攻(全ての楽器、声楽、作曲から一つ選択) 20分
※演奏コースへの転コースを希望する場合、さらに30分の個別レッスンを追加できます(希望制、有料)。

作曲専攻

作曲に役立つ幅広い音楽の知識をコース特有の講義・演習で学ぶとともに、和声、対位法、管弦楽法などの多様な作曲技法を学びます。

講義・演習

作曲、音楽学、アートマネジメント、音楽教育の4つの領域による講義・演習(ソフトウェアによる音楽制作、楽器学、舞台技術、リトミックなど)

個人レッスン

作曲50分、副専攻ピアノ20分

大学入学 までの流れ

1年次
演奏コース
音楽総合コース

2年次
演奏コース
プログレスコース
音楽総合コース

3年次
演奏コース
プログレスコース
音楽総合コース

大学進学

他コースへ変更可能

他コースへ変更可能

※演奏コースからプログレスコース、音楽総合コースから演奏コースへの変更は転コース試験を受ける必要があります。なお、音楽総合コースからプログレスコースへの転コースはできません。



武蔵野音楽大学「コンコルディア奨学金」 受給記念コンサート開催

本学では2023年、一篤志家からの寄附を原資とする「コンコルディア奨学金」を創設しました。この奨学金の名称は、ローマ神話の協調、相互理解、調和の女神「コンコルディア」に由来しており、大学の建学の精神にも通じています。

音楽学部卒業予定者・卒業生および大学院修了予定者・修了生を対象に、優れた業績を挙げた者や今後の成長が期待される者を表彰・奨励しています。選考では、コンクール受賞歴や研究業績、外国の教育機関への留学、優秀な楽団や教育機関への就任などが考慮されます。

2024年度並びに2025年度は世界で活躍する下記2名の修了生が受給し、校内ホールにて受給記念コンサートを開催しました。この新たな奨学金制度が、在学生、卒業・修了生の更なる研鑽の励み、活躍の支援になるものと期待しています。

2024年度 受給

木林理絵 ピアノ・リサイタル

2025年10月13日(月・祝) ブラームスホール

Message

このたび、このような栄誉ある奨学金を賜りましたこと、並びに母校で演奏の機会をいただきましたことを大変光栄に思っています。受給記念コンサートでのプログラムは、これまでの私の音楽人生において特に大切な瞬間を共にした作品を選びました。武蔵野音楽大学に在学中に外国人の先生に師事する機会をいただいたことで、海外留学に興味を持ち、大学院修了後にドイツに留学するきっかけとなったことは間違いありません。武蔵野で培った舞台マナーやメンタル面での学び、そして長時間の試験を含む数多くの演奏機会など、そのどれもが今の私の演奏活動の礎となっています。在学生の皆様にとっても、武蔵野での出会いや経験、過ごした時間がかけがえのないものになりますように。



Profile

2012年武蔵野音楽大学音楽学部ヴィルトゥオーソ学科卒業、2014年同大学大学院音楽研究科修士課程ヴィルトゥオーソコース修了。在学中は重松聡、Konstantin Ganev、Elena Ashkenazy の各氏に師事。2014年に渡独、カールスルーエ音楽大学大学院にてKaya Han氏のもと研鑽を積み、その後ドイツ国家演奏家資格取得。2022年10月よりフランクフルト音楽・舞台芸術大学常勤講師。



2025年度 受給

大西宇宙 バリトン・リサイタル

2025年9月30日(火) ベートーヴェンホール

Message

今回このような名誉ある賞をいただき本当に感激しております。私は2010年に武蔵野音楽大学大学院を修了しましたので、当時は校舎がまだ旧校舎でした。今回、受給記念コンサートをさせていただいたベートーヴェンホールは今もその面影を残しており、ホールにいますと美しい響きはもちろん、在学時の匂いや空気感などが鮮明に思い出されます。まさにこの場所から、世界の舞台を目指して研鑽を積み始めたのだなと思うと感慨深いです。武蔵野は恩師の先生方をはじめ、多くの方との出会いをいただいた、私にとって大切な学び舎です。私はこれまでも沢山のことに挑戦してきましたが、今後も変わらずさまざまな挑戦を続けていきたいと思っています。今はその後押しをこの「コンコルディア奨学金」がしてくださっていると感じています。



ピアノ=筈井美貴

Profile

2008年武蔵野音楽大学卒業、2010年同大学大学院修了。ジュリアード音楽院修了。シカゴ・リリック歌劇場にてデビュー。2019年に《エフゲニー・オネーギン》で日本オペラデビュー後、国内外の歌劇場で活躍。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、ホテルオークラ音楽賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。CD「詩人の恋」(ピアノ:小林道夫)をBRAVO RECORDSよりリリース。世界の名立たる指揮者、オーケストラと共演を重ねる他、国内外にて活躍している。



©Marco Borggreve

栄えある誉れ——福井直敬名誉理事長 令和7年秋の叙勲において旭日中綬章を受章

このたび、本学園名誉理事長の福井直敬先生が、
栄えある『旭日中綬章』を受章されました。
福井先生は、昨年6月に学園理事長をご退任されるまで、
60余年にわたり本学園の不断の発展に情熱を注ぐとともに、
日本私立大学協会会長、公益財団法人私立大学退職金財団理事長、
公益財団法人日本高等教育評価機構評議員・同議長、
文部科学省大学設置学校法人審議会委員等の要職を歴任し、
全身全霊を傾け、我が国の私立大学の振興と高等教育の
普及発展に多大なる貢献を果たしてこられました。
このたびの栄誉は、福井先生の永年にわたる各方面への
業績が評価されたものです。
その立派なご功績を称えとともに、
謹んでお慶び申し上げます。



福井直敬先生 略歴（令和8年4月1日現在）

[職歴]

昭和40年 4月	武蔵野音楽大学 図書館長(昭和46年4月まで)
昭和46年 5月	武蔵野音楽大学 演奏部長(昭和50年3月まで)
昭和47年 4月	学校法人 武蔵野音楽学園 広報部長(昭和57年3月まで)
昭和50年 4月	学校法人 武蔵野音楽学園 総務部長(昭和57年3月まで)
昭和54年 1月	学校法人 武蔵野音楽学園 理事(令和7年6月12日まで)
昭和56年 9月	武蔵野音楽大学学長(令和2年3月31日まで)
昭和56年 9月	武蔵野音楽大学附属高等学校校長(令和2年3月31日まで)
昭和57年 3月	学校法人 武蔵野音楽学園 評議員(現在に至る)
平成10年 2月	学校法人 武蔵野音楽学園 理事長(令和7年6月12日まで)

[主要関係団体職歴]

日本私立大学協会 会長、文部科学省大学設置・学校法人審議会(学校法人分科会) 特別委員、文部科学省大学設置・学校法人審議会(大学設置分科会) 委員、公益財団法人私立大学退職金財団 理事長、公益財団法人新国立劇場運営財団 評議員、公益財団法人大学基準協会 評議員、全日本音楽教育研究会 会長 等を歴任。
現在、公益財団法人サイトウ・キネン財団 評議員、公益財団法人日本高等教育評価機構 評議員、公益財団法人音楽鑑賞振興財団 評議員、日本私立大学協会 顧問。

[主な受賞歴等]

昭和61年 6月	ハンガリー共和国政府よりフランツ・リストメダル
平成 2年 2月	ドイツ連邦共和国功労勲章一等功労十字章
平成21年 9月	ハンガリー共和国より褒章Pro Cultura Hungarica
平成25年11月	平成25年度練馬区民功労者表彰
平成25年11月	平成25年度陸上幕僚長感謝状
平成30年10月	平成30年度防衛大臣感謝状
平成30年 3月	ハンガリーよりハンガリー国騎士十字功労勲章
令和元年12月	令和元年度文化庁長官表彰
令和 4年 3月	日本私立大学協会「永年功労役員表彰(40年)」
令和 6年 3月	日本私立大学協会「感謝状」
令和 6年10月	令和6年度東京都功労者表彰

2025年9月から2026年3月に開催した演奏会

※肩書は演奏会時のものです。

管弦楽団演奏会

指揮＝北原幸男（本学教授）



PROGRAM

ワーグナー：《タンホイザー》序曲
 ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 Op.43
 ベルリオーズ：幻想交響曲 Op.14

福岡公演

（開催日）2025年9月20日（土）
 （会場）福岡シンフォニーホール（アクロス福岡内）
 ピアノ独奏＝小林広歩（大学院修士課程ヴィルトゥオーゾコース1年）

東京公演

（開催日）2025年9月26日（金）
 （会場）東京芸術劇場 コンサートホール
 ピアノ独奏＝瀬良杏奈（演奏学科ヴィルトゥオーゾコース2年）



ミーシャ・ダチッチ 客員教授 ピアノ・リサイタル

（開催日）2025年10月17日（金）
 （会場）プラームスホール



崔文洙 客員教授 ヴァイオリン・ コンサート&公開レッスン

（開催日）2025年10月24日（金）
 （会場）プラームスホール
 ピアノ＝水野ゆみ（本学講師）



陸上自衛隊中央音楽隊 & 武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブル キャンパスコンサート2025

（開催日）2025年10月5日（日）
 （会場）ベートーヴェンホール
 第1部 武蔵野音楽大学ウィンドアンサンブル
 指揮＝武田 晃（本学講師）
 第2部 陸上自衛隊中央音楽隊
 指揮＝志賀 亨（隊長／1等陸佐）
 第3部 合同演奏



ラインホルト・フリードリヒ トランペット・コンサート&公開レッスン

（開催日）2025年11月6日（木）
 （会場）プラームスホール



ニュー・ストリーム・コンサート57 ～ヴィルトゥオーゾコース演奏会～

〔開催日〕 2025年11月20日(木)

〔会場〕 TOPPAN ホール

出演＝大竹 豊(Bar.)、後藤紫織(Vln.)、瀬良杏奈(Pf.)、
清水晴楼(Sax.)、松元駿介(Fl.)、曾田美音(Pf.)



管弦楽団演奏会

指揮＝原田慶太楼(客演指揮者)

〔開催日〕 2025年11月27日(木)

〔会場〕 東京オペラシティ コンサートホール

PROGRAM

ショスタコーヴィチ:祝典序曲 Op.96

小田実結子:生まれかわりの旅 ～出羽の山々に想いを馳せて～

チャイコフスキー:交響曲 第4番 へ短調 Op.36



室内合唱団演奏会

〔開催日〕 2025年12月2日(火)

〔会場〕 ベートーヴェンホール

指揮＝片山みゆき(本学講師)、佐藤洋人(本学講師)

ピアノ＝齋藤誠二(本学嘱託講師)、川瀬紗綾(本学研修員)



アートマネジメントコース企画制作公演 手紙～音楽に 想いを込めて～

〔開催日〕 2025年12月5日(金)

〔会場〕 プラームスホール



ウィンドアンサンブル演奏会

指揮＝飯森範親(本学客員教授)

〔開催日〕 2025年12月15日(月)

〔会場〕 東京芸術劇場 コンサートホール

PROGRAM

没後20年、アルフレッド・リードの回想

リード:音楽祭のプレリュード 他

ナヴァロ:リベルタドーレス

バーンス:交響曲 第3番 Op.89



第73回ミューズフェスティバル開催

本学の秋を飾る「ミューズフェスティバル」が開催テーマ「Harmony」のもと、10月31日の前日祭を幕開けに、11月1日・2日の3日間にわたり開催されました。このフェスティバルは今回で73回目を数える武蔵野の伝統的行事で、学生自身の自主的な企画・運営のもと、学生・教職員が一体となって協力し開催されます。今回も学生演奏をメインに数多くの有志団体が出演した他、オーケストラ・吹奏楽・本学教員による招待演奏など、充実した内容が展開されました。さらに展示・公演としてクラブ団体や授業団体の研究発表、クラブ団体・楽器会による模擬店も出店され、学内は連日多くの来場者で賑わいました。音楽があふれるアカデミックな祭典は今回も盛会裏に終了しました。

招待演奏＝オルガン独奏：
石丸由佳(本学講師)



前日祭 仮装ブラス

大学、附属高等学校ウェブサイトリニューアル



掲載している画面は制作中のイメージです。実際の内容・仕様は変更となる場合があります。

大学および附属高等学校のウェブサイトを、このたび全面リニューアルいたしました。「格調×親しみやすさ」をコンセプトに、高校・大学間の連携にも配慮しながらデザインを一新しました。さらに、ユーザーの多様な利用目的に応じて、必要な情報へよりスムーズにアクセスできるよう情報構造や導線を根本から見直すとともに、コンテンツ分類や検索性も強化し快適なユーザーエクスペリエンスを実現しました。また、スマートフォンやタブレットからの閲覧にも最適化し、どの端末からでも円滑にご利用いただけます。新しく生まれ変わったウェブサイトを、ぜひご活用ください。

武蔵野音楽大学同窓会全国総会開催

昨年9月12日、「令和7年度 武蔵野音楽大学同窓会全国総会」が、本学江古田キャンパスにおいて開催され、全国各地から約160余名の同窓生が集いました。

総会はブラームスホールで開催され、重松 聡同窓会理事長の挨拶に続き、福井直昭本学理事長・学長・同窓会会長から、大学の動

向を含め今後の同窓会活動の展望についてお話いただきました。場所をキャンパスレストラン「Intermezzo」に移し開催された懇親会では、久しぶりの再会を喜び、近況や情報交換をしたり、思い出を語り合ったりと、大いに親睦を深めました。

大学令和7年度卒業式・修了式挙行

3月16日、ベートーヴェンホールにて令和7年度大学学部卒業式、大学院（博士前期課程・博士後期課程）修了式、別科修了式を挙行了しました。会場には多くの卒業生・修了生や保護者、教職員が集い、晴れやかな雰囲気の中で新たな旅立ちを祝いました。式典はオルガンの前奏で華やかに始まり、福井直昭学長から学位記、修了証が授与されました。続く学長の式辞では、在学中に培った知識と経験を糧に、これからの社会で力強く歩んでいくことへの音楽学部総代 曾田美音(ヴィルトゥオーゾコース ピアノ専攻)

期待が述べられ、それに対する卒業生代表の答辞では、仲間や教職員への感謝と未来への決意が込められ、会場は深い感動に包まれました。

式後にはアルカディア市ヶ谷（私学会館）にて学生主催による謝恩パーティーが和やかに開かれ、恩師へ感謝を伝える姿や、友人同士で記念撮影を楽しむ様子が見られました。卒業生・修了生の皆さんの今後の活躍を心より祈念いたします。

答辞 長嶋穂乃香(ヴィルトゥオーゾコース 声楽専攻)



附属高等学校各種行事

第29回 在校生によるコンサート

附属高等学校では、生徒の向学心に応える研究発表の場として、恒例の「在校生によるコンサート」を9月23日、ブラームスホールにて開催しました。専攻実技のみならず、日々の教育活動全般において真摯に取り組む姿勢が評価された2・3年生、および特別出演の卒業生が、日頃の成果を惜しみなく発揮しました。



ミューズフェスティバル

11月1日・2日に開催された大学祭において、附属高等学校の生徒たちは演奏発表で出演し、弦楽、声楽、管・打楽器の各種アンサンブルと混声合唱を披露しました。本公演に向けて生徒たちは、積極的にコミュニケーションをとり、セッティング運営やプログラム製作にも取り組み、演奏会を開催するまでの過程も実践的に学びました。



ドリームコンサート2026

今回で12回目を数える本コンサート(3月1日開催、ブラームスホール)は、生徒たちの授業成果を発表するため開催しており、卒業を控える3年生にとっては高校生活の集大成となる舞台です。

これまで共に切磋琢磨してきた仲間全員で奏でる調べに、会場からはあたたかい拍手が送られました。



附属高等学校令和7年度卒業式

令和7年度卒業式を3月9日ブラームスホールにて挙行いたしました。晴れの日を迎えた卒業生たちは、在校中に培った学びと経験を胸に、新たな未来へと力強く歩み出しました。



附属幼稚園各種行事

第一・第二幼稚園では令和7年度の各園行事が滞りなく実施されました。秋の遠足や運動会を通じて集団における協調性を養い、発表会では練習を重ねてきた歌やバイオリンなどの楽器演奏を堂々と披露しました。また「子どものための音楽会」では、武蔵野音楽大学の学生による趣向を凝らした演奏が繰り広げられ、園児たちは本物の音色に触れる心豊かなひとときを過ごしました。そして3月、様々な経験を経て、心身ともにたくましく成長した年長児は修了の日を迎えました。修了児たちは教職員や保護者の温かな眼差しに見守られる中、希望を胸に巣立っていきました。



Musashino Topics

▶令和7年度音楽大学卒業生演奏会(桃華楽堂)

2026年3月9日、皇居内にある音楽ホール桃華楽堂で、在京5音楽大学の代表による「音楽大学卒業生演奏会」が開催されました。本学からは、曾田美音さん(ピアノ独奏)が出演させていただきました。

▶令和7年度クロイツァー賞受賞者

日本のピアノ音楽発展に寄与した故レオニード・クロイツァー教授の名を冠した「クロイツァー賞」。東京藝術大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学の大学院修了生から、毎年特に優れた成績を修めた学生が選出されます。本学からは大学院修士課程ヴィルトゥオーゾコース修了の恒本優花さんが選ばれ、2026年7月11日 TOPPAN ホールにおいて開催予定の受賞者による演奏会に出演します。

武蔵野音楽学園教育運営推進協力寄附金 ご寄附をいただいた方々

学校法人武蔵野音楽学園では、寄附金に対する税額控除制度の恩典が与えられたことに鑑み、教育環境整備基金、福井直秋記念奨学基金並びに演奏活動特別基金の拡充を目的とする寄附金を募集しましたところ、下記の方々（他に匿名を希望される方57名）よりご寄附をいただきました。ここにご芳名を掲載し、深く感謝の意を表します。 学校法人 武蔵野音楽学園

同窓生

青木 嵩様	打越孝裕様	金子朝子様	沢登眞佐美様	立山美佳様	葉玉喜久子様	宮治容子様
秋山江美様	宇留野 愛様	金子道子様	重松晃子様	田中裕子様	浜田真理様	宮下悠紀子様
阿久津櫻子様	大浦まゆみ様	金本美恵子様	嶋田晶子様	田中幸子様	林 育美様	宮之原厚子様
足立さつき様	大久保優美子様	亀崎光子様	菅井千里様	田中淑子様	林 秀樹様	村上由美様
新井尚子様	大高直子様	川合民恵様	菅原充子様	田辺礼子様	林 裕美子様	森岡 翠様
荒川昭子様	大沼佳代子様	川上路子様	鈴木富江様	長 百合子様	常陸純子様	森田恵理様
荒川 明様	大野恵子様	川口俊子様	鈴木弥生様	土屋 香様	廣重雅己様	柳澤香花様
荒木 渉様	大場絵里様	川谷登喜子様	鈴木由紀様	斗ヶ澤慈晃様	福井紀子様	山口尚子様
安藤理香子様	大山喬子様	川本嘉子様	須長忠雄様	戸田美樹子様	藤井絹枝様	山崎綾子様
飯田好子様	大山由美子様	清瀬雅子様	角南実穂子様	虎谷房江様	古家恵子様	山田 一様
五十嵐典子様	岡田昭浩様	雲英ひろ子様	関 邦子様	仲川浩美様	星野慶子様	吉田厚子様
池庄司好美様	小川和子様	草道恵美子様	関 由美子様	中嶋一成様	本田 康様	吉田まり様
石井滋子様	小川眞理子様	葛日尚子様	相馬清美様	長嶋美代子様	前田京子様	頼 恭子様
石橋亜紀子様	小川靖奏子様	楠本晶子様	高市方子様	中谷 勉様	松井悦子様	李 正堯様
石渡保子様	荻野陽子様	高坂久美子様	田頭幼子様	中塚 英一様	松浦靖子様	和合ひと美様
市川素雅子様	奥賀裕子様	五反美千代様	高橋寿奈様	永原美奈子様	松浦良治様	渡邊尋子様
一島允子様	小黒智子様	小林なな子様	高橋田鶴子様	中村久美子様	松尾 緑様	武蔵野音楽大学 同窓会 栃木県支部様
伊藤菊子様	小黒万里子様	小松孝子様	高増尚子様	中村俊輔様	松本和子様	
伊藤真理絵様	越智啓文様	齋藤江美子様	田口素子様	中村昌枝様	丸山三保様	
伊波 睦様	海瀬慶子様	齋藤善江様	竹内 睦様	中谷麻子様	水井恵美子様	
入井典代様	笥 美代子様	佐竹舒子様	武内玲子様	中山晴美様	光田明子様	
岩城僚子様	加藤柳治様	佐藤節子様	竹久保明子様	西田明美様	嶺 さくら様	
印南英里様	金子朝子様	佐野直子様	立野了子様	畠山由美様	三部安紀子様	

在学生・同ご父母

伊藤康利様	加藤公一様	小出浩丸様	鈴木勝也様	松崎泰資様
小野新一様	加藤進治様	島田寛子様	墨谷充昭様	村松 薫様

役員・教職員・一般・他

加島良和様	坂下裕子様	田中 悠様	日高正枝様	堀田公子様	前田 淳様	森田美智子様
古池 好様	関根弘美様	谷 友博様	平田亜矢様	堀田健介様	三村隆文様	渡邊規久雄様
高坂朋聖様	田代慎之介様	塚田雄二様	福井直敬様	堀内康雄様	村上重美様	佐伯隆夫門下生一同様

※ご芳名（五十音順）は、2025年6月1日から2025年12月31日までに寄附いただいた方々です。

それ以降の方は、次号にて掲載させていただきます。また勝手ながら掲載区分は当方で決めさせていただきます。何とぞご了承ください。

※本学ウェブサイトからも、クレジットカード決済によりご寄附のお手続きができます。是非ご利用ください。

2026年4月から9月に開催の演奏会

4月10日(金) (18:30)	大学院修士課程在学生コンサート	ブラームホール(江古田)	無料(全席自由)
4月17日(金) (18:30)	令和7年度音楽学部卒業生新人演奏会	ブラームホール(江古田)	¥1,000(全席自由)
5月15日(金) (18:30)	令和7年度大学院修士課程修了生新人演奏会	ブラームホール(江古田)	¥1,000(全席自由)
6月8日(日) (18:30)	ロバート・ダヴィドヴィッチ客員教授 ヴァイオリン・リサイタル ピアノ=小池ちとせ 曲目=シューベルト:ヴァイオリン・ソナタ イ長調 D574 ラヴェル:ヴァイオリン・ソナタ ト長調 他	ブラームホール(江古田)	¥2,000(全席自由)
6月11日(水) (18:30)	ニュー・ストリーム・コンサート 58~ヴィルトゥオオーゾコース演奏会~	ブラームホール(江古田)	無料(全席自由)
6月26日(金) (18:30)	ケマル・ゲキチ客員教授 ピアノ・リサイタル	ベートーヴェンホール(江古田)	¥2,000(全席自由)
7月11日(土) (15:00)	ウィンドアンサンブル演奏会 指揮=チャド・ニコルソン 曲目=ジョン・ウィリアムズ:リパティ・ファンファーレ	北ガス市民ホール (北見市民会館)	一般¥1,500/ 小中高生¥1,000(全席自由)
7月16日(水) (18:30)	コーブランド:コーブランド・ポートレイト 阿部勇一:交響詩《鯨と海》 他	東京芸術劇場 コンサートホール	一般¥1,500/ 小中高生¥1,000(全席指定)
9月28日(日) (18:30)	管弦楽団演奏会 指揮=和田一樹 曲目=ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 Op.58 ストラヴィンスキー:組曲《火の鳥》(1919年版) 他	東京芸術劇場 コンサートホール	一般¥1,500/ 小中高生¥1,000(全席指定)

※やむをえない事情により、開催日時・出演者・曲目等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。※チケットは本学ウェブサイトより購入できます。

●お問合せ 演奏部 TEL:03-3992-1120 ●武蔵野音楽大学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

2026年度 イベント情報

オープンキャンパス		
開催日	主な実施内容	会場
2026年 5月17日⑩	ガイダンス(大学案内)、 附属高等学校説明会、 体験レッスン、学生によるコンサート、 キャンパスツアー、体験授業 質問コーナー、他	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス
2026年 6月14日⑩		
2026年 7月19日⑩		
2026年 8月 2日⑩		
2026年 9月 6日⑩		
2026年10月18日⑩		
2027年 3月21日⑩		

学校説明会 & 体験レッスン		
開催日	開催地	会場
2026年 5月10日⑩	福島県郡山市	郡山市音楽・文化交流館(ミュカルがくと館)
2026年 5月24日⑩	北海道釧路市	コーチャンフォー釧路文化ホール 小ホール
2026年 5月24日⑩	宮城県仙台市	カワイ仙台
2026年 5月31日⑩	静岡県浜松市	ヤマハミュージックアベニュー浜松
2026年 5月31日⑩	福岡県福岡市	アクロス福岡 イベントホール
2026年 6月 7日⑩	長野県長野市	長野市芸術館 リサイタルホール
2026年 6月 7日⑩	大分県大分市	iichiko 総合文化センター 音の泉ホール
2026年 6月21日⑩	富山県富山市	富山県民共生センターサンフォルテ
2026年 6月21日⑩	広島県広島市	広島県民文化センター
2026年 6月28日⑩	北海道札幌市	ガイダンス会場：六花亭札幌本店きたこぶしホール レッスン会場：ヤマハミュージック札幌店 札幌センター
2026年 6月28日⑩	千葉県千葉市	ヤマハミュージックジャパン千葉センター
2026年 7月 5日⑩	神奈川県横浜市	横浜市港北区民文化センター ミズキーホール
2026年 7月 5日⑩	香川県観音寺市	ハイスタッフホール小ホール
2026年 7月12日⑩	愛知県名古屋	名古屋音楽学校

受験講習会(大学・高校)		
日程	講習会名	会場
2026年 8月 7日⑩～ 9日⑩	夏期講習会I期	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス
2026年 8月21日⑩～ 23日⑩	夏期講習会II期	
2026年 9月20日⑩～ 21日⑩ ^祝	秋期講習会	
2026年12月25日⑩～ 27日⑩	冬期講習会	
2027年 3月26日⑩～ 28日⑩	春期講習会	

中高生のためのステップアップ・レッスン & 指導者のための特別講座		
開催日	内容	会場
2026年10月 4日⑩	ピアノ・声楽・管楽器・ 打楽器・弦楽器の個人レッスン 個別相談	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス
2026年11月29日⑩		
2027年 2月14日⑩		
2026年11月29日⑩	指導者のための特別講座 声楽・管楽器	
2027年 2月14日⑩	指導者のための特別講座 ピアノ・弦楽器	

音楽指導者セミナー		
開催日	主な実施内容	会場
2026年10月11日⑩	本学講師陣による、楽器や声楽などの指導者、 小学校・中学校・高等学校の先生を対象としたセミナー 全10講座を開講	武蔵野音楽大学 江古田キャンパス

※事前申し込みが必要です。詳細は本学ウェブサイトをご覧ください。
 【資料請求】本学ウェブサイト内の「資料請求フォーム」からお申し込みいただくか、本学広報室(TEL.03-3992-1125)へお電話にてご請求ください。
 【お問合せ】武蔵野音楽大学 入学センター TEL. 03-3992-2500(平日 9:00～17:00) E-mail:nyugaku-c@musashino-music.ac.jp

Contents Vol.148 2026

- 1 ごあいさつ 理事長・学長 福井直昭
-
- 2 巻頭 特別対談 スターダスト
星屑が照らす“今求められる力”（後編）
根本 要（スターダスト☆レビュー）× 福井直昭 理事長・学長
-
- 8 音楽の万華鏡 曲の終わりの飾り模様 稲田隆之
楽器ミュージアムレター マダガスカル楽器コレクション
-
- 9 2026年4月 附属高等学校 新校舎 堂々落成
-
- 11 武蔵野音楽大学「コンコルディア奨学金」受給記念コンサート開催
-
- 12 栄えある誉れ ― 福井直敬名誉理事長 令和7年秋の叙勲において旭日中綬章を受章
-
- 13 Musashino News 2025年9月から2026年3月に開催した演奏会
第73回ミューズフェスティバル開催
大学、附属高等学校ウェブサイトリニューアル
武蔵野音楽大学同窓会全国総会開催
大学令和7年度卒業式・修了式挙行政
附属高等学校各種行事
附属幼稚園各種行事

Musashino Topics

- 17 Campus Information 武蔵野音楽学園教育運営推進協力寄附金 ご寄附をいただいた方々
2026年4月から9月に開催の演奏会
2026年度イベント情報

表紙の写真

2025年11月に東京オペラシティコンサートホールにて開催された本学管弦楽団演奏会での一幕。現在国内外で活躍する若きマエストロ、原田慶太楼氏の指揮は、学生たちを力強く牽引し、会場全体を興奮の渦に巻き込みました。



学校法人 武蔵野音楽学園

- 江古田キャンパス | 〒176-8521 東京都練馬区羽沢1丁目13-1
TEL. 03-3992-1121 (代表)
- 入間キャンパス | 〒358-8521 埼玉県入間市中神728
TEL. 04-2932-2111 (代表)
- パルナソス多摩 | 〒206-0033 東京都多摩市落合5-7-1
TEL. 042-389-0711 (代表)

武蔵野音楽大学大学院
博士前期課程・博士後期課程
武蔵野音楽大学
武蔵野音楽大学別科
武蔵野音楽大学附属高等学校
武蔵野音楽大学第一幼稚園
武蔵野音楽大学第二幼稚園
附属音楽教室 江古田・入間・多摩

武蔵野音楽大学ウェブサイト <https://www.musashino-music.ac.jp/>

